

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(福津子ども発達センター)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			通常の集団療育に加えて小集団の機能改善訓練や個別の学習訓練を同時に行う場合は、既存の部屋の環境を整えて臨機応変に使用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			事故や突発的な事態に備えて十分に配置している。また、発作などの配慮が必要な利用者には個別的に職員を配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関、トイレ、各部屋の出入りはフラットであり、廊下には手すりが設置されている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務計画は所長と管理責任者の話し合いのもと作成され、実施に関しては全ての職員が関与する。年度末に業務全体が計画に沿って行われたかどうかを児童発達支援管理責任者が確認し、次年度の計画につなげている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成29年度中に実施し、結果をもとに業務改善やサービスの質の向上につなげていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成29年度中に自己評価の結果をホームページで公開する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが今後、必要に応じ検討していく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修や学会などに積極的に参加している。また、外部研修を受けた際はそれを職員会議で周知し、内部では医師や臨床心理士等による個別ケースに基づいたケース検討や知識習得の為の研修を実施している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			電話相談、面接を行い十分にアセスメントを行った上で計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントシートを活用している。
	11 活動プログラムの立案を全体で行っているか	○			持ち回りで担当を決め、全員で活動プログラムを立案している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとに合わせた行事を取り入れている他、利用メンバーに合わせたプログラムを実施している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状態や状況、保護者の要望に合わせて個別・集団を組み合わせ計画を立てているが、計画に盛り込んでいない場合でも臨機応変に対応している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前に担当者が計画を立て、児童発達支援管理責任者が確認した計画に従って事前に打ち合わせし、実行している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の利用者の行動について特記事項を記録し、日々の終礼にて全員で共有している。終礼に出席出来ない職員には、会議録を確認することを徹底している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録の書き方について研修を行い、適切に記録を残すようにしている。また、職員会議にて支援方法を検証し、日々の支援改善につなげている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			およそ6ヶ月ごとにモニタリングを行い、計画の見直し、会議での話し合い、修正を行って保護者に確認している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則に基づき自立支援と日常生活のための活動、創作活動、余暇の提供などを組み合わせ合わせて積極的に行っている。	
関係機関や保護者との	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者ないはその子どもの担当者、日常をよく理解している者を選定して参画している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要時に連絡を取り情報の共有等を行い、不備がないよう適切に対応している。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアが必要な子どものニーズはないが、利用児が定期的に通院しているような場合、適宜保護者から情報を得ている。

連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		特に1年生の場合は情報共有を行うよう努めている。	
	関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談支援専門員を中心に行っている。
		25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		市の児童発達支援事業と連携して情報を共有したり、研修に参加したりしている。
		26	地域との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		敷地の一部を地域に開放しており、地域の方々の出入りや駐車場の貸与を自由に行っている。ボランティアや実習生を受け入れ、交流を持つ機会を提供している。また、法人の行事である運動会や夏祭りのポスターを掲示し開催を公示している。
		27	(地域自立支援)協議会等行政機関が集まる会議へ積極的に参加しているか	○		定期的に参加している。
		28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用の際には連絡ノートを使用し、その日の活動や様子を伝えている。また保護者の突発的な要求や相談にも随時対応している。
29		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対する具体的な支援方法について情報の提供及び助言等を行っているか	○		個別に対応して行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に全て丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		適宜行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	デイサービス利用者の年齢層は広く、子どもの発達に関する悩みもその年齢に応じて変化する。個別的な対応は行っているが、父母の会などを積極的に支援はしていない。保護者同士の関わりを求める方には、保護者会の紹介を行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の前例はないが、苦情があった場合には適切に対応できる体制を整えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		活動概要や行事に関しては、実施した内容をその都度利用児の様子が分かるように写真などを添えて知らせている。また、月ごとに季節行事を行う旨を施設パンフレットや説明書などにも記載し保護者へは利用開始時に説明している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に保護者から個人情報の取り扱いに関する同意書を得ており、取り扱いには十分注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日々の活動内容等については連絡ノートを活用し、保護者に伝えている。また、子どもが不安やパニックを起こす要因を推測し、保護者に伝えるとともに、軽減できるよう解決策を提示している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		駐車場を無料で提供し、AED設置を地域に向け公開している。また、法人行事である運動会や夏祭りなどのポスターを掲示し開催を公示している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか、また必要に応じて保護者への説明を行っているか	○		各マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には利用開始前の契約時に、マニュアルに基づいて説明を行うと共に要望に応じて閲覧できるようにするなど対応を工夫していく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に各種災害を想定した訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		行政機関等の研修を受け、全体に周知している。また虐待に関する職員アンケートを実施している。	
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現時点で身体拘束を行わなければならない利用者がいないので、保護者への説明やデイサービス計画への記載などは行っていない。必要に応じて組織的に決定し保護者の了解を得るなど適切に対応していきたい。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づき十分な配慮を行っているか	○		アレルギーに関する情報を保護者から提供して頂き、同意書を交わした上で給食やおやつの内容を栄養士とともに検討し、十分に配慮し提供している。	
	43	やむを得ずケガや事故が起きた際はその都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員間での情報共有を行っているか	○		行っている。	